

ひろか

だより

第310号

平成30年5月19日

発行

弘果 弘前中央青果株式会社

弘前市大字末広1丁目2-1

TEL 0172-27-5511

URL http://www.hiroka.jp

ドトール、のち、はれやか
DOUTOR **好評発売中**

ドトール自慢の
ミラノサンドです

ミラノサンド
国産グリルビーフ

ドトールコーヒーショップ
●弘前さくら野店
●弘前イトーヨーカドー店

是非お立ち寄り下さい!

440円(税込)



弘果りんご止市の様子

当日は1万7629箱(前年比97.0%)が入荷し、「ふじ」の上実が高値10260円(同105.6%)、中値7776円(同110.8%)、安値6480円(同109.1%)、小玉が高値8640円(同123.1%)、中値7560円(同140.0%)、安値6264円(同145.0%)での取引となりました。

葛西静男専務は止

弘果

あたり大中忠社長は「29年産は、干ばつや低温等の影響で小玉傾向となり、また、9月と10月の強風により、キズ果が多い等、生産者にとって苦しい年だったと思えます。そのような状況の中、皆様の努力で美味しいうるごに仕上がり、国内外からの引き合いが強くなり、総じて良い単価で取引されたことは、30年産への励みとなったことと思います」と挨拶しました。その後、弘果りんご買参人共進会森山博幸会長による手締め、弘果りんご連絡協議会木村良一会長の音頭で乾杯を行い、29年産最後の競売が始まりました。

29年産りんご止市

高単価取引で30年産へ励み

弘果及び津軽りんご市場に於いて4月26日、29年産りんごの止市が行われました。両市場を合わせた29年産りんご取扱数量は、652万6815箱(前年比85.7%)、1箱あたりの平均単価は4349円(同97.2%)となり、取扱金額が弘果では186億5550万円(同84.0%)、津軽りんご市場では97億2680万円(同81.9%)となり、記録的な金額となった28年産を下回りましたが、好調に取引されました。



津軽りんご市場止市の様子

当日は1万5458箱(前年比110.0%)が入荷し、「ふじ」の上実が高値9720円(同100.0%)、中値7776円(同110.8%)、安値6480円(同109.1%)、小玉が高値8640円(同123.1%)、中値7560円(同140.0%)、安値6264円(同145.0%)での取引となりました。

石戸谷繁副社長は「29年産は小玉傾向ながら、食味の良さや販売環境が良かった影響から、特に年明けから生産者が驚くほど高値で販売され、結果として良い取引ができた一年と言えるのではないのでしょうか」と話していました。

平成29年産の取扱数量は222万3670箱(同83.0%)、平均単価は4374円(同98.6%)となりました。

津軽市場

午前7時30分より行われた止市には、生産者約1000人、買参人約1200人が来場。当日は1万5458箱(前年比110.0%)が入荷し、「ふじ」の上実が高値9720円(同100.0%)、中値7776円(同110.8%)、安値6480円(同109.1%)、小玉が高値8640円(同123.1%)、中値7560円(同140.0%)、安値6264円(同145.0%)での取引となりました。



創立40周年記念式典
弘果りんご連絡協議会

創立40周年を祝賀する出席者で賑わう会場

弘果りんご連絡協議会(木村良一会長)創立40周年を記念して5月8日、弘果第三卸売場特設会場に於いて、会員、関係者約600名が出席し、式典が開催されました。

同会は、消費動向に合わせた品種の構成、生産技術の確立、選果基準等の共有化を推し進め、各出荷組合のレベルアップを図ることを目的に、昭和53年4月「弘果りんご生産販売組合連絡協議会」として設立されました。現在、269の組合が加入し、活動を行っています。

式典では最初に祝辞が披露され、続いて木村会長が「四十年の間には台風被害、降雪被害、凍霜被害、豪雪被害など数々の自然災害が発生し、さらには国内外の経済環境

弘果りんご連絡協議会 創立40周年の節目祝う

の変化、生産者の高齢化や後継者不足、若年層の果物離れによる国内消費の低迷、自然環境の変化への対応等、りんご産業界に関する問題はまだまだ山積しており、迅速な決断と行動が不可欠となっております。私達りんご生産に携わる者として、青森りんごを守り、次の世代に引き継いでいくことが、重要な使命であると考え、関係する団体が連携を図り一丸となり、青森県のりんご産業界を盛り立てていきます」と挨拶。その後、これまでの活動を振り返った「40年の歩み」を紹介。そして、関係団体への感謝状の贈呈、優良出荷組合が表彰され、会場は祝賀ムードに包まれ、節目の年を祝いました。

りんごトレサビ(TS)

平成30年度りんごトレサビの書類が今月中旬(5月中旬)頃に発送予定となっております。本年度はトレサビに関する説明をわかりやすくお伝えするため、冊子の誌面を刷新いたしました。また、本年度のトレサビ情報をいち早く確認いただきたく、お手元に届き次第早急に開封し、同封書類のご確認をお願いいたします。尚、プレゼントキャンペーンも実施しております。

野菜・果実トレサビ(TS)

平成30年度野菜・果実トレサビリテイを受付中です。皆様の加入をお願いいたします。

【場所】弘果トレサビセンター(当社第2卸売場)

【時間】午前8時～午後5時 【休業日】市場休市日

【登録費用】3000円(平成31年3月31日まで有効)

【持参していただくもの】案内はがき、登録費用出荷登録番号票(初めて登録される方は印鑑もご持参下さい)詳しくは、弘果総合研究開発(電話:0172-29-4184)まで。

「農」の「業」を継ぐ 期待の後継者



兜森 理之さん (52)
家業である「農業」に希望を見出し、夢に向け努力する期待の後継者を紹介します。

【家族構成】妻、子供2人の4人家族
【住所】弘前市糠坪
【作付状況】りんご14畝
【就農年】2014年
【きっかけ】サラリーマンとして長年勤め、りんごの作業が忙しい時は家業の手伝いをしていました。やがて母親が亡くなったことがきっかけとなり、その時から家業について真剣に考えるようになりました。様々な事を考慮し、自分の中で葛藤して就農を決意、専業主業への第一歩を踏み出しました。

【現在】家業であり、手伝いをしていたとはいえ、技術面、経営面ともに「ゼロからの出発」に近い形で始まった農業ですが、周りのアドバイスや日々の作業等から、経験を積み重ねています。

【夢・展望】現在の規模をしっかりと守ることを第一に、黄色系の栽培面積を増やし、労力の軽減と収入の安定を図りたい。

【座右の銘】「初心忘れるべからず」このことわざの「初心」には様々な意味がありますが、自分は「基本」と解釈し、人生や農業に於いても「基本」となる要素を忘れずに大切にしていきたい。



レタスの収穫作業に励む佐藤さん

今が旬 レタス

田舎館村枝川の佐藤茂樹さんは、3棟のハウスと約10アールの園地で「スターレイ」という品種のレタスを栽培しています。

種で、結球性と玉太りのバランスが良く、形状安定性に優れるので、気温の変動が大きい春取りの栽培に適し、肉厚で歯切れの良い食感、爽やかな風味が特徴です。佐藤さんは今年の生育について「気温の影響で若干遅れ気味だが、品質・食味は最高。ハウス栽培は終盤を迎え、露地物は5月下旬に収穫のピークを迎える予定です」と話していました。レタスはサラダ等の生食は勿論、炒め物やスープ等、加熱しても美味しくいただけます。また、ベータカロテン、ビタミンC、E、カリウム、食物繊維が含まれ、健康効果が期待できます。今が旬を迎えた地物のレタスを是非ともご賞味ください。

生産者団体 定時総会開催

弘果グループ関係団体(9団体)では、3月下旬から5月上旬にかけて、定時総会を行いました。

各団体の総会では、平成29年度の事業報告と収支決算、今年度の事業計画案、予算案がそれぞれ審議、可決され、平成30年度のスケジュールが読み上げられ、満場の拍手を以て採択されました。

また左記7団体では、任期満了に伴う役員改選が行われました。



須藤恵司新会長

弘果のつどい 連絡協議会

- 会長 須藤恵司 国吉出荷組合(新任)
- 副会長 林徳昭 弘下・下湯口りんご研究会(再任)
- 顧問 工藤郁男 清水森りんご出荷組合(新任)
- 八木橋孝男 大鰐地区りんご連絡協議会(再任)
- 三上勝彦 黒石高花出荷組合(再任)
- 工藤浩文 丸弘十面沢出荷組合(新任)

弘果のつどい 婦人部

- 部長 島内恵子 蔵館研農会(再任)
- 副部長 清藤富士子 岩木新法師出荷組合(再任)
- 藤田昌子 岩木大玉出荷組合(新任)

弘果のつどい 連絡協議会 青年部

- 部長 安田英広 あさつゆ出荷組合(再任)
- 副部長 藤田隆之 鬼沢りんご支会(再任)
- 鳴海勝一 ヤマ独出荷組合(再任)

弘果地場やさしい 連絡協議会

- 会長 石田嘉人 清野袋蔬菜生産出荷組合(再任)
- 副会長 越後谷孝行 グリーンファーム(再任)
- 相馬義彦 TMT出荷組合(新任)



工藤幹康新部長

青森オリジナルズ 生産連絡協議会 青年部

- 部長 工藤幹康 津軽太洋出荷組合(新任)
- 副部長 越後谷繁視 上福元生産組合(再任)
- 須藤正克 一般・丸山地区(再任)

津軽りんご市場 連絡協議会

- 会長 葛西直人 コスモス出荷組合(再任)
- 副会長 長内良蔵 いたやなぎGアップル出荷組合(再任)
- 瓜田良一 十人会(再任)

津軽のつどい 市場連絡協議会 婦人部

- 部長 花田勢津子 ロイヤル出荷組合(再任)
- 副部長 木村イク子 建石アップル会(再任)
- 木村国江 松緑出荷組合(再任)

更なる高品質へ向け勉強会 桃出荷組合「桃娘(ももこ)倶楽部」



更なる高品質を目指して学ぶ参加者

当社(全面的に桃を出荷している弘前市高杉地区の若手生産者で組織する出荷組合「桃娘(ももこ)倶楽部」(棟方健二会長)は4月24日、同市糠坪の棟方会長園地に於いて講習会を行い、組合員及び関係者15名が参加しました。

高品質な桃栽培に向けた講習会では、剪定・摘芽・摘蕾・摘花や、効果的な施肥方法等が実演され、参加者は熱心に学びました。当社では労力軽減、所得向上を目的に、選果機を利用し、オリジナルブ

りんご大学
APPLE UNIVERSITY

青森りんごTS導入協議会ではりんごに関する様々な情報を発信するHP「りんご大学」を公開しております。

『我ら林檎人』マンガ版 第三弾
キタエアップル 会長 鍛恒雄さん (前編) 絶賛公開中!

他にも充実したコンテンツが満載!

りんご大学

HSPC
HIROKA SKI RACING CLUB

弘果スキーレーシングクラブ
成績報告会開催

弘果スキーレーシングクラブが2017-2018シーズンの全日程を終了し、4月19日に弘前市フォルトーナに於いて、成績報告会を開催しました。関係者約80名が出席した報告会では、今シーズンの成績が報告され、青森県スキー選手権、全日本スキー選手権、国体等で活躍した開

弘果スキーレーシングクラブの健闘を讃えました。弘果スキー後援会では選手への応援、地元のスキー競技振興を目的に、会員を募集しています。入会等のお問い合わせは電話・0172-2715511(内線433)担当成田までお願いいたします。

坂優勝手を讃えました。開坂選手は、皆様の暖かい応援や大会での声援が励みとなり、今シーズンを戦うことができました。と振り返り、「来シーズンは皆様の期待に応えられる走りをして、良い結果を残したい」と意気込みました。

その後乾杯が行われ、練習風景や大会での活躍を映像で振り返り、選手の健闘を讃えました。

来シーズンの活躍を誓う開坂選手



来シーズンの活躍を誓う開坂選手